

県連ニュース

2018年 7月号 NO-492



滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	エッセイ	2
案内	夏山に向けて	3
	比良山縦走大会（速報）	4
	教育部・山岳写真講座	5
	ステップアップ登山講座 開講	6
報告	第46回 清掃登山 報告書－集計表－	7
	第3回 理事会議事録	9
	雪山基礎講座2（第6回）	11
	ぐうたら理事長のつぶやき	15
予 定 表		16

表紙の写真：『伊吹山七合目より』

背景は米原市街の眺望 2018/06/03 清掃登山時撮影

滋賀山友会所属 山森 恵子さん提供

—エッセイ—

「音の風景」は騒音？！

彷徨倶楽部：高田 忠雄

最近の日本では、土地ごとに特有の「音の風景」が、ときに邪険に扱われているようだ。

たとえば～ セミやカエルの声。子供のころ、京都市内で生まれ育った私は、夏休みになると母の実家であった福井県敦賀市松原の家へ出かけて、好きな海水浴や昆虫採集に講じた。海辺から近距離なので、周りは松林や田んぼ。当然、昼間は大音量のセミの鳴き声の中で海水浴や昆虫採集、夜はカエルの大合唱を耳にしながら眠りについた。そんな記憶が夏休みの楽しさと分かちがたく、今も結びついている…。

ところが最近、郊外の新興住宅地では、それを「騒音公害」だと、役所に訴えてくる人が増えているという。

そうなんか～と思うと…。夏の京都といえば、酷暑季節の祇園祭である。その前後は、市中心部の鉾町に「こんこんちきちん、こんちきちん」祭り囃子が流れ～ 町中は連日何十万人が訪れる。それは京都特有の猛暑に打ち勝つ、ハモ料理と並ぶ鉾町の言い習わされてきた風物詩にほかならない。ところが、新住民のなかに「やかましい」と苦情をいう人がいるのだそう。若い世代には気にならないらしいコンポ大音量やゲーム機やケータイやスマホの電子音を、年寄りが「やかましい」騒音やというのと同じことなのか～。ちょっと違うような気がするんやけど…。幼稚園や保育園の子供たちの元気な声が「やかましい 騒音や」と言われるのも嘆かわしい。そういえば昔、電車が駅に到着の際に「きょ～と～、きょ～と～かわらまち～しゅうてん～」と独特の節回しで、まるで「歌う」かのように流れてきた車内や駅のアナウンスが、今は「ただいま京都河原町駅に到着しました」— 淡々と事実だけを伝えるようになっている。

こうした変化が、なんで、いつから起ったのか。身近な音の風景の変化には、なかなか不思議な意味が隠されていそうな気がする。

—おわり—

夏山に向けて

友永芳和

うとうしい梅雨入りがもうすぐです(梅雨に入っているかもしれません)。梅雨が明けると待ちに待った夏山シーズンの訪れです。みなさん準備は万端ですか？ トレーニングはしていますか？ 体調管理はしっかりしていますか？

最近では道迷いの遭難が多くなっています。コースの情報をしっかり調べて計画書を作りましょう。計画書は山行前の大切なシュミレーションです。参加メンバーでしっかりコースの状態など共有して出発してください。

夏山は熱中症などを発症しやすいので、休憩ごとに喉が渇いてなくても、少しずつ水分補給をしましょう。ただ飲み過ぎると汗をかきすぎて体力を消耗します。注意してください。

午後にはカミナリの発生が多くなります。早立ちして行動を早めに終わるようにしてください。「カミナリ 3 日」と言います。山小屋やキャンプ場の管理人に確かめて、カミナリの発生を予測して明日の予定をしっかりと立ててください。谷沿いのコースでは夕立による急な増水にも要注意です。現在いる場所では降っていないとしても、上流で大雨が降っていることもあります。

転倒、転落は下りに多いので、スピードの出し過ぎに注意しましょう。筋肉疲労などの可能性もあるので、行動中はこまめに行動食をとるようにして、適当に休憩もしましょう。道迷いも下りの時に起こりやすいので、少しでも不安を感じたら現在地のわかる場所まで引き返してください。

登山届の提出も忘れないで下さい。「転ばぬ先の杖」です。

では充実した楽しい思い出に残る山行になるように願っています。

『速報』 比良縦走大会の案内概要

恒例の県連主催比良縦走大会を下記のとおり開催しますので、皆さま多数ご参加ください。

今年はイン谷口ゴールで例年より距離が短く、参加し易くなっております。

1 開催日 2018年9月30日(日)

2 コース 9:30 ⇒ 栗原バス停スタート
17:00 ⇒ イン谷口 ゴール 必着

3 集 合 JR和邇駅9:00 集合 (和邇駅9:16発 栗原 行バス)
⇒栗原バス停9:26着⇒9:30分スタート

4 参加費 1,000 円 (保険等諸費用含む)実施日当日徴収します。

5 締め切り 9 月 14 日 (金)

6 注意事項

① 参加資格

コースを十分把握している個人もしくはリーダーがいるパーティ。

個 人 労山会員で労山山岳事故対策基金の加入者。

パーティ 労山 山岳事故対策基金加入者がリーダー。

一般参加者も含めグループ行動厳守となります。

② 道迷い、けが、事故等トラブルについて主催者は責任を負いません。

★申し込み等の詳細は 8 月号県連ニュースで案内します。

教育部主催 山岳写真基礎講座

素晴らしい景色を眺めながら登山することに加え、その素晴らしい景色を魅力的な写真に収めることで面白さは倍増します。

その魅力的な写真へ一変させるコツは「構図と露出」です。今回の講座は、山岳写真の基礎を習得し、魅力的な写真を撮ることです。

対象者 魅力的な山岳写真を撮りたい方

開催日時:2018. 7月6日金曜日 18:30集合

場所: 県連事務所

参加人数:10名 定員になり次第打ち切り

締め切り:6月30日(土)

参加費:500円

申込、問合先: 番浦文子まで 連絡してください。

Tel: 090-2195-1224 mail:banurajp@gmail.com



カレンダーに選定された写真

講習内容 (2時間)

1)魅力ある写真 2)カメラの基礎知識(カメラの機能と露出) 3)初めての構図

持参するもの

1)カメラ(持っているカメラ:コンパクトデジタルカメラ、一眼レフカメラ)

2)カメラの取扱説明書

事前学習:取扱説明書にて事前に学習してみてください。

1)持参するカメラの露出調整操作方法(プラスとマイナス)

2)ピント合わせ方法(半押し)

講師: 森原 利光氏 プロフィール

1)所属: 湖南岳友会

2)写真歴 ・2004年 デジタル一眼レフカメラを始める。風景中心。

・2011年 初めて北アルプス立山雄山を登り、山岳写真撮影。

・2012年 湖南岳友会へ入会。

・2017年 勤労者山岳連盟のカレンダーに応募し、表紙に選定される。

一步先の山へ！

--- ステップアップ登山講座 開講のお知らせ ---

この講座は、今の自分の技術や経験ではちょっと心配、でも登ってみたいと思っている山、すなわち「一步先の山」を目指す人を対象にします。山は一期一会。「登りたい」と思った時がその時です。心に残る山登りを経験しながら山の世界を広げませんか？

■日 程：2018年7月～2018年11月

- ・5回の講座を通じて実戦的に登山技術のレベルアップを図ります。連続受講が理想的ですが、各回独立した内容なので単回受講も可能です。
- ・受講希望者を対象にオリエンテーションを行います。
- ・日程はオリエンテーションで調整します。

■会 場：南北アルプス、ハヶ岳

実技講習の会場は、西穂高岳～奥穂高岳、北鎌尾根、横尾本谷～槍ヶ岳、小渋川～赤石岳、劔岳池ノ平周辺、横岳大同心稜などを考えています。

■講 師：秋田誠（彷徨倶楽部）およびクライミング研究会会員

■講習内容：

1. 地形図の読図とルートファインディング
2. 無雪期ビバーク体験
3. 夏山（特に雷対策）、秋山の気象

■募集人数：8名程度

■受講料：1回2,000円（予定）、テキスト、資料代を含みます。
申込金は要りません。

■申込み（問合せ）：

090-3727-3721（秋田）
または
dekameno@gmail.com

■申込期限：7月10日（火）



北アルプス・小窓雪渓から劔岳を望む

第 46 回清掃登山報告

滋賀県勤労者山岳連盟

理事長 友永 芳和

今年の清掃登山は、5月27日、6月2、3日にわたり、県内8会場11コースで実施しました。天気に恵まれ気持ちよく清掃活動ができました。参加者は3日間で203名(前年より25名減)、登山道から回収されたゴミは合計156.4kgでした。前年より213.3kg少ないゴミを回収していただきました。またゴミ拾いだけでなく、自然保護活動の意義を広めるため、自然保護憲章の紹介や朗読、自然観察会なども同時に行いました。

各コースとも登山道周辺のゴミはそれほど多くありませんでしたが、以前土の中に埋められたゴミが地表に姿を見せ始めたようです。また、林道や登山口周辺には不法投棄された産廃や家庭ゴミも目立っています。今年度は自治体の要請で塩ビパイプなどのゴミは回収しませんでした。写真などで関係自治体の担当者に現地の状態を知らせて、現地を見分けて頂き、何らかの対応をとって頂くことが必要でしょう。

また、今年度も子供さんが13名参加してくれました。嬉しい限りです。今後とも若い世代に広まって行けば嬉しく思います。

今年は残念ながら1名の方が捻挫で病院に行かれましたが、参加者の安全確保に心をかけて頂いたコースリーダーおよびスタッフの皆様、熱心にゴミを回収してくださった参加者の皆様、そしてご支援頂いた関係自治体及び企業等の皆様に心からお礼を申し上げます。皆様のお力なしには清掃登山は成り立ちませんでした。各コースリーダーのコメントと写真は、支援して頂いた自治体に報告しました。

清掃登山を通じて、当連盟と自治体や地域の方々との連携を深めていくことは、湖国の山々の自然保護に大きく貢献することでしょう。今後も私たちは誇り高い緑の番人として、この活動をますます発展させていきたいと思います。

第 46 回清掃登山集計

日程	会場	コース	担当会	会員	一般		自治体 ほか	合計	回収ゴミ (Kg)
					大人	子供			
6/2	信楽	飯道山	綾野山歩会	10	10	4	0	24	10.5
5/27	鈴鹿	竜ヶ岳	滋賀山友会	10	1	0	0	11	2.2
6/3	伊吹	伊吹山	滋賀山友会	11	3	0	0	14	38.8
	金勝アルプス	天狗岩	滋賀山友会	18	4	0	0	22	7.0
	比良	隠れ滝	ちごゆり	10	4	0	0	14	42.0
		白滝山	比良雪稜会	12	16	0	0	28	7.5
		蓬萊山	比良雪稜会	14	15	0	0	29	33.1
	三上山	三上山	テクテククラブ	9	2	3	0	14	0.7
	竜王町	雪野山	彷徨倶楽部	4	7	6	0	17	1.1
	マキノ	寒風山	シャクナゲ	5	0	0	0	5	4.5
	鈴鹿	高室山	湖南岳友会	22	3	0	0	25	9.0
合計				125	65	13	0	203	156.4

*:ちごゆり(ちごゆり山歩会)、テクテククラブ(びわこテクテククラブ)、

シャクナゲ(シャクナゲ湖行クラブ)

** : 飯道山と三上山は当連盟友好団体の綾野山歩会とテクテククラブが

担当(会員として集計)

2018年度 第3回理事会議事録

2018.5.17(木)19:00~20:40 於:県連事務所

出席:北村、秋田、友永、中島、高玉、宮内、三崎、古川、番浦、濱、川端、今村、池田(記録)

欠席:(連絡あり)奥野、東郷

(理事会定数 15名)

下記の議題につき、提案・協議・検討・決定をした。

1. 清掃登山(経過報告/確認)

・清掃登山のチラシを作成し各会に配送。それ以外に次の所に配送した。

綾野山歩会、びわこテクテククラブ・江若交通・びわこバレイ・岩と雪・アルム・好日山荘
他

・遠距離で交通機関の不便な、滋賀山友会の伊吹山と湖南岳友会の高室山に、県連から交通費補助を行う。

・広告費は「岩と雪」「好日山荘」の2つとなった。

・しおりとリーダーの手引きは5月17日に発送。添付の報告書は6月4日の週までに中島理事へ送付すること。

どこで撮ったかを明らかにした写真2枚を6月8日までに友永理事長へ送付すること。

・全体の報告書→県連ニュース原稿は友永理事長が6月15日までに行う。自治体への報告書提出は6月末を目途とする。

・保険については締め切りを5月25日と6月1日とするが、一般参加者の氏名・生年月日か年齢が必要。

2 各部報告

組織:会員数動向(前年度末比:206/214 96.3%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
75/80	52/52	45/45	13/13	16/16	5/5
合計 2018.4E/2018.3E					
206/211		97.6%			

組織部

・拡大タスクチームを発足。5月22日に第1回目の会議を県連事務所で開催。

教育部 :

- ・地図読み山行計画案の提出。
- ・(山岳)写真の講座開催予定。実施要項を出す。

遭難対策部 :

- ・初心者を対象に三上山にて岩登りを実施する(計画案提出)。
- ・6/24 京都府連主催の搬出訓練が近江高島にて実施される。

自然保護部 :

- ・4/6 近畿ブロック自然保護委員会が開催。
- ・リニア新幹線反対署名については目標の500筆に向けて進めていく。現在319筆
- ・7/6 近畿ブロック自然保護委員会を開催予定

機関紙部 :

- ・県連ニュース6月号は原稿締切り済。5/21印刷・発送。
- ・県連ニュース7月号は原稿締切りは6/15
比良縦走登山の原稿は7月号と8月号の2回にわたって掲載する。

財政部

- ・2期分入金済み

CSS :

- ・4/20~21 仙丈ヶ岳 参加者 4人
- ・5/3~6 塩見岳 参加者 9人

その他

- ・4/8 近畿ブロック代表者会報告
奈良県連は理事会がなくなった。
放射線測定頻度のデータは大阪自然保護委員会にある? 確認中
- ・6/8 富士山ガイドス大阪 梅田センタービル 13時30分から
- ・6/23~24 全国女性担当者会議 全国連盟事務所
- ・6/30~7/1 全国遭難対策担当者会議 全国連盟事務所 今村理事が出席。
- ・8/10~11 「山の日」全国大会 鳥取県大山町 県連としての取組みについては未定
- ・9/15~16 全国ハイキング交流集会 静岡県伊豆 長岡温泉
- ・山岳遺産候補地募集について

次回 第4回理事会 6月14日(木)19:00~

雪山基礎講座 2(第 6 回)報告

南アルプス 塩見岳

- 日 時 5/3～5/6
天 気 曇～晴
講 師 秋田(彷徨倶楽部)
受講生 川端 森原 小西 達摩 山川(報告) 高岡(湖南岳友会)
田中 其阿弥(比良雪稜会)
行 程 5/3 守山駅→名神黒丸 PA→中央道松川 IC→伊那大島駅(泊)
5/4 伊那大島駅→鳥倉登山口(林道ゲート)7:40→豊口登山口 8:30→三伏峠
(TS)13:00
5/5 三伏峠(TS)4:15→三伏山→本谷山 6:00→塩見小屋 10:00→塩見岳 12:15
→塩見小屋 15:00→本谷山 18:00→三伏山→三伏峠(TS)20:15
5/6 三伏峠(TS)→豊口登山口→鳥倉登山口(林道ゲート)15:00

報 告 今回は講習会 FAINAL、北アルプス 爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳の縦走計画でしたが天気は荒れ模様のため、南アルプス 塩見岳に変更となりました。

5/3 前泊でお馴染みのメンバーさん達と恒例のプチ宴会で盛り上がりました。ちょっと遅めの就寝です。

5/4 伊那大島駅から1時間強ぐらいで鳥倉登山口に到着しました。少し小雪がちらつき寒かった。林道を経て豊口登山口へ道標 5/10 ぐらいからアイゼン装着、トレースはありますがトラバースの連続で緊張します。コンディションは良く無事に三伏峠に到着しました。



5/5 2時起床、4時過ぎヘッドランプを点けてスタートです。薄暗くガスって寒いです。霧氷が綺麗に付いていました。本谷山あたりから塩見岳が現れました。ここから権右衛門山のトラバースはブッシュが多くルートもロスして少々手こずりました。塩見小屋までの急斜面ではロープで確保しての登りとなりました。この先は無積雪ルートの岩稜帯でしっかり三点支持で登ります。8時間かかって山頂へ。青空いっぱい南アルプスの稜線が広がります。中央アルプス、富士山も良い眺めです。



山頂を満喫して下山します。復路は更に慎重に岩稜帯をゆっくりと下ります。ブッシュ、トラバースも問題なし。さすがに受講生達は消耗しています。本谷山あたりから日が沈み、ヘッドランプを点けて暗い中でしたが無事に三伏峠(TS)に到着しました。



5/6 7 時頃起床。ゆっくりと朝食時間をとって 11 時頃下山開始です。途中までトラバースが多いので気を引き締めていきます。樹林帯の間からは見納めの中央アルプス、北アルプスが見えました。残雪もなくなり新緑の落葉松帯を通して無事に下山しました。

一口感想

今回の塩見岳も貴重な体験をするとともに雪山と岩稜帯を面白く山行できた。とりわけ、今回自信に繋がったと思えることは、山頂部の岩稜帯を 12 本アイゼンで登下降したこと。昨年、谷川岳で 5 箇所岩稜帯を登ったが、今回は山頂部の岩稜帯の登りだけでも 1 時間 20 分かかった。緊張したが、しっかりとホールドと足場を確認することで、安定して登りと下降をすることができた。今回も長丁場となったが、これまでの長時間山行で経験したことにより不安感も無く歩けた。

一度、苦しい経験を積むと困難に直面しても慌てることなく冷静になれた。

塩見岳が雪山基礎講座 2 最後の山行となった。この講座では 6 回受講し、それぞれの山行で貴重な体験と雪山の魅力を教えていただき、指導いただきました講師に感謝します。ありがとうございました。

森原

山頂では 20 m を超える強風が吹いているとの予報でしたが、風もなく穏やかな好天に恵まれ、塩見岳に登頂することが出来ました。アイゼンでの岩稜帯歩行、雪面のトラバース、ピッケルを使用するバックステップ ロープでの確保 今まで学んだことを総復習できる山行でした。荷の重さも今までで最高でした。3000 m 級の雪山テント泊で、辛くなく楽しむ為に、どれくらいのトレーニングが必要かを、自分なりに考えなければいけないと思いました。

小西由美子

登山口から山頂までの距離が長く、また歩きにくい樹林帯の通過や、12 本アイゼンを履いての初めての岩稜帯登攀もあり気力と体力を使いましたが、晴天にも恵まれ、疲れも吹き飛ばす絶景も見ることができ、大変充実感のある山行を楽しむことが出来ました。

達摩

重い荷に体がなかなか馴染まなかったが、三伏峠までは標識で 10 分割されており、到着までの励みとなった。登山口からは雪はなく、6 割くらいからようやく残雪のトレースになった。

2日目 藪が続いたが、小屋からのピークまでは急斜面の岩稜登りとなる。雪は殆どなく、アイゼンの装着以外は夏場と変わらなかった。さほど人が入っていないせいか浮石は多かった。冬期はミックスルートとなりトレースも困難だろうし、初心者には厳しいところだと思うと今回はピークまで行けラッキーだった。

雪山講座を通じて学んだことはまず、装備の重要性を強く感じた。

雪上の登降もアイスバーンの時、シャーベット状でのステップも安定して歩けるようになり、ピッケルの役割（バランス保持、ブレーキ、ホールド）を状況によって使えるようになった。反省点として、無雪期の倍以上の体力が必要だと実感し体力増強に努めないといけない。それでも、頑張れたことで精神面では強くなったように思う。

川端 久美子

南アルプスの大きさを実感した山行でした。長い道のりのおかげで、ピッケルの使い方、雪上、岩でのアイゼンの復習がたくさん出来ました。 其阿弥

当初は爺が岳～鹿島槍ヶ岳の予定が、寒気の影響で気温が下がり風も24m/sと登山には不向きで、比較的、安定している南アルプスの塩見岳に変更になった。森林限界も少ないためである。駐車場に到着して出発準備をしている時に雪が散らつき、山の方はどんよりした雲が覆い被さっていたので、どうなるのかな～と心配もしていました。ベースキャンプに向かう途中で5月には珍しい霧氷も見られた。今回は冬山講座の最終回で、食事関係は山とは思えない贅沢さ！手作りキーマカレーや網焼き、お鍋、雑炊の具は焼いてきた鮭で軽量化食材では無かった為に荷物は重くなったけど、皆さん大満足だったような？長丁場でスタミナが要りましたが、就寝中は時折、突風や雪が打ちつける音が聞こえてきました。講師の秋田さんも寝坊するほどで頂上までのアタックを諦めていたように思う。ヘッドランプを点けて出発し、太陽がしっかり上がるまでは暗雲垂れ込める塩見岳。それも9時には、天気がどんどん回復し青空となった。幸いにして風も弱く素晴らしい天候の元、頂を踏む事が出来、皆さん達成感で溢れかえって嬉しそうでした。ただ、1日の行動時間が16時間となり、体力的にも厳しく集中力を持続させるために自分との戦いだったと思います。事故も無く皆さんと無事に帰宅できた事は本当に良かったです。講師の秋田さんには色々な経験をさせて貰い、メンタル的にも技術的にも成長出来た事を感謝致します。これからも知識・経験を増やし安全で楽しい登山が出来れば嬉しく思います。有難うございました。 高岡 範子

ぐうたら理事長のつぶやき

清掃登山を無事に終える事ができました。ありがとうございます。今年の清掃登山は、天気にも恵まれ気持ちよく清掃活動ができました。参加者は 203 名、登山道から回収されたゴミは合計 156.4kg でした。各コースとも登山道周辺のゴミはそれほど多くありませんでしたが、以前土の中に埋められたゴミが地表に姿を見せ始めたようです。また、林道や登山口周辺には不法投棄された産廃や家庭ゴミも目立っています。

参加者の安全確保に心をくだいて頂いたコースリーダーおよびスタッフの皆様、熱心にゴミを回収してくださった参加者の皆様、そしてご支援頂いた関係自治体及び企業等の皆様に心からお礼を申し上げます。皆様のお力なしには清掃登山は成り立ちませんでした。

もうすぐ古希を迎えます。持っている本を処分しようかと思っています。ただ、その前に改めて読み返してみようと思っています。まず昭和 50 年前後に二見書房から出版された山岳名著シリーズを読み始めています。「単独行」や「風雪のビバーク」「山靴の音」などは何度もよんでいます。1度読んだだけで本棚に並べてホコリを被り、色褪せたままの本を読んでいます。山登りを始めて間がなかった頃に読んだ印象と、再び読み返した時の印象は大きく変わっているのに気づきました。感性が鈍くなってしまったのでしょうか。それとも無駄に人生の時間を過ごしたせいでしょうか。

若い頃は「なぜ山に登るのか」なんて考えていた事もありますが、答えが出るはずありません。

岡田喜秋さんの「青春の山想」の中にこんな一節がありました。

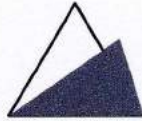
「無償の行為」・・・山登りとは要するにそんなものである。「山になぜ登るのか」と問われて、「山がそこにあるからだ」と答えた一登山家の逸話は有名である。山に魅力を感じない人にとっては、山登りは、ただ肉体を自虐する行為のように思えるかも知れない。しかし、私たちはこうして現に、つらい山登りを続けている。誰かに頼まれてこの山に登っているのではない。やはり、単純に登りたかったのだろう。友人が吐いた言葉「来てよかった」・・・そんなことから理解できる。

最近は「来てよかった」と言える山登りをしているだろうか？ ただ惰性で登っているだけなのかも知れない。若い頃は行きたい所が文字通り「山」のようにあったのに、今は、行きたい所に行けない自分を情けなく思う日々です(ちょっと大げさか)。もう一度「なぜ山に登るのか」と自分に問いかけてみるのも良いかもしれない。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名	
7			7	1	初級登山教室(音羽山)	山友	
				1	野坂山地・武奈ヶ岳	山友	
				1	武奈ヶ岳八ツ淵滝ルート	岳友	
	6	教育部 山岳写真基礎講座		7	納涼会、北山・栈敷ヶ岳	山友	
	7	県連 第1期 地図読み教室 座学		7-8	夏山合宿・美ヶ原	ちご	
				8	七尾山～横山	雪稜	
		12		第5回理事会			
	14-15	八ヶ岳阿弥陀南稜(CSS)		14-15	白山	岳友	
				14-16	鏡平～双六縦走	岳友	
	21	県連 第1期 地図読み教室 実技①		16	伊吹山地・小谷山	山友	
				19	ミーティング	彷徨	
				21	文競山	彷徨	
				20-22	劔岳	雪稜	
				22	田上 笹間ヶ岳	ちご	
		28	夏山集中山行、立山・雷鳥沢	山友			
		29~8/1	白峰三山	雪稜			
		28	ミーティング	岳友			
		29	白髭岳(台高山脈)	岳友			
8			8				
	4	県連 第1期 地図読み教室 実技②		5	高島トレイル	岳友	
	9	第6回理事会		5	太神山・矢筈ヶ岳	雪稜	
	10-11	「山の日」全国大会		11	京都北山 直谷～出会橋	ちご	
				11-13	赤木沢	岳友	
				11-14	雲の平	岳友	
	18	県連 第1期 地図読み教室 実技③					
				23	ミーティング	彷徨	
				25	ミーティング	岳友	
				25-26	初級登山教室、大峰・和佐又キャンプ場	山友	
				25-26	信越トレイル	彷徨	
		26	墓谷山～呉枯ノ峰	雪稜			
		26	清滝～高尾 (ソーメン山行)	ちご			
9			9	1-2	野坂山地・野坂岳	山友	
				9	霊仙山	ちご	
	13	第7回理事会					
	15-16	全国ハイキング交流集会		15-17	塩見岳	彷徨	
				20	ミーティング	彷徨	
		29	ミーティング	岳友			
		30	白滝山	ちご			
	30	比良縦走大会					

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部
 スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先（8月号は2018年7月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿はB5サイズ、フォント10.5~12で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース7月号 №492

発行日：2018年6月21日

滋賀県勤労者山岳連盟
〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel:080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行（店名418）
普通0239956

発行責任者：友永芳和

編集委員：奥野 豊

高玉 敬子 東郷 京子